

九州観光推進機構 活動レポート

感動がある。物語がある。九州



— 2012年6月号 —

◆ 5月のトピックス

○ 香港・EGLツアーズ・ガイド研修を支援 (5月9日～13日:熊本、宮崎、鹿児島)

香港の大手旅行会社EGLツアーズは、今年7～8月に計画している鹿児島空港イン／アウトのチャーター便ツアーの催行で、事前のガイド研修を企画したため、熊本、宮崎、鹿児島3県は連携して研修を受入れ、当機構は九州内の移動に要した費用を負担して研修を支援しました。

今回の研修を受講したガイドが本番のツアーにおいて、九州南部の認知度向上、さらなる九州への誘客促進で成果を発揮していただくことが期待されます。



○ 中国「第9回上海世界観光博覧会(WTF2012)」に出展 (5月10日～13日:上海市)

上海市旅遊事業管理委員会他の主催による「第9回上海世界観光博覧会(WTF2012)」において、「BtoB」「BtoC」の2ブースを出展し、九州の観光PRに努めました。博覧会には、50か国の550地域が参加し、3万5千人以上の来場者がありました。

特に「BtoC」のブースでは、当機構マスコット「キューちゃん」、九州各県を背景にした合成写真(ブルーバック)撮影が人気を集め、連日沢山の来場者が押し寄せました。

○ 中国「南国風」スタッフを招請 (5月12日～16日:長崎、佐賀、熊本、宮崎、大分、福岡)

中国各地の主要旅行会社や一定以上の所得層に配布している九州専門観光情報誌「南国風」(年4回発行)のスタッフを招請し、同誌で九州の情報を発信しました。

6月発行の第5号は、「お料理豊富・新鮮・美味しい・安い・九州駅前居酒屋」をテーマに、九州各地の駅に近い居酒屋が紹介されました。また、自由旅行、ツアープログラムでのフリータイムの過ごし方を掲載しており、今後の誘客促進に寄与するものと期待されます。

○ 台湾・MOOK出版「TRAVELER」取材を支援 (5月12日～17日:福岡、熊本、大分、宮崎、鹿児島)

台湾の月刊旅行雑誌「TRAVELER」7月号(8万部発行)で九州特集を掲載することになり、MOOK出版の記者とカメラマンが5泊6日の行程で、福岡、熊本、大分、宮崎、鹿児島各県の観光素材の取材を行いました。同誌の美しい写真と丁寧な記事の掲載は、九州観光の効果的な露出が期待されます。

なお、取材費用は、台北・福岡間の往復航空運賃を台湾側が負担、九州内の宿泊経費は、同出版社からの求めに応じて機構が負担しました。



○ 台湾・TVBS「来去住一晚」を招請 (5月15日～22日:熊本、宮崎、鹿児島)

台湾の若手タレントが地方に宿泊して現地の食や文化を楽しく紹介するTVBSのテレビ番組「来去住一晚」の取材チームが、3月下旬に新規就航した台北鹿児島線を利用して九州入りし、熊本、宮崎、鹿児島3県を7泊8日の行程で取材を行いました。

台湾では、6月20日、6月27日、8月1日の3回に分けて放送される予定であり、九州南部の「食」「温泉」「楽しい列車の旅」がバラエティ色豊かに紹介されます。



○ 平成24年度下期「九州観光素材説明会・相談会」を開催

(5月16日、22日、24日、30日:東京、名古屋、大阪、広島)

平成24年度下期の九州向け旅行商品の造成促進を図るため、品川プリンスホテル、ホテル名古屋ガーデンパレス、ホテルグランヴィア大阪、メルパルク広島の4か所において、旅行会社の商品造成担当者を対象とする「観光素材説明会・相談会」を開催しました。

東京での開催はJR九州と共催、その他の地域では機構単独で開催となり、旅行会社、メディアの関係者を合わせて、東京179名、名古屋23名、大阪44名、広島37名が参加されました。

説明会では、九州各県の最新の観光素材、「九州オルレ」「九州の観光列車」等の説明を行いました。引き続き実施した相談会では、旅行会社が九州各県のブースを回って相談に応じ、各ブースでは熱心なやり取りが交わされました。

特に「九州オルレ」など新しい観光素材は、旅行会社の関心が集まり、今後の九州旅行商品の造成に大きく寄与するものと期待されます。



東京



広島

○ 「九州オルレ」メディアを招請 (5月17日～21日:鹿児島、熊本、大分、佐賀)

韓国全域で「九州オルレ」を中心とする九州の情報を発信し、九州観光をPRしてもらうため、韓国の主要新聞社(9社)を九州に招請し、「九州オルレ」の体験とともに、九州新幹線や福岡市内で3月から運行している「オープントップバス」に乗車していただきました。

「九州オルレ」と九州の新しい観光素材を組み合わせた九州観光のPRは、九州の魅力認知度の向上に寄与することが期待されます。



○ 「2012年度定時総会」等を開催 (5月18日、23日:福岡市)

九州観光推進機構の「2012年度定時総会」(5月23日)を九州各県・企業・団体会員等89名のご出席のもとで開催しました。総会は国土交通省九州運輸局長の玉木良知氏に来賓としてご挨拶をいただいた後、機構事務局から以下の議案について説明を行い、原案どおり承認されました。

- <議案>
- ・2011年度事業報告、2011年度収支決算
 - ・2012年度事業計画、2012年度収支予算
 - ・役員を選任について

2012年度の重点的実施事業として、特区ガイドの実現、九州観光案内所の整備支援、旅行会社向け説明会・相談会の実施及びプロモーション活動の強化、九州ブランドの検討等を行います。

また、役員を選任については、理事・事業本部長の大江英夫が今年6月30日をもって退任し、後任に現事業副本部長の高橋誠が7月1日付で就任することが承認されました。



2012年度定時総会

また、定時総会に先立って開催しました「第1回評議員会」（5月18日）、「第1回理事会」（5月23日）では、2012年度定時総会の議案等の審議とともに、重点的実施事業、コールセンターへの取組等について質疑応答が行われました。



2012年度第1回理事会

○ 中国・広東省東莞市及び周辺地域教育関係者等を招請

（5月20日～24日：福岡、佐賀、熊本、宮崎、鹿児島）

中国華南エリアにおいて、海外旅行取扱指定旅行社が営業活動を行っている東莞市及び周辺地域の学校の中で、特に九州への教育旅行を意欲的に検討している学校長や市政府教育局長等関係者を招請し、一行は福岡、佐賀、熊本、宮崎、鹿児島を視察しました。

東莞市教育関係者は、全般的に九州に対して好感を抱いており、今後の九州への教育旅行の促進が期待されます。

○ モータースポーツ関係メディアを招請（5月24日～28日：福岡、宮崎、大分、熊本）

モータースポーツイベント「オートポリス SUPER 2 & 4 RACE 2012」が5月26日～27日に大分県日田市のオートポリスで開催される機会を捉え、韓国のメディア6社を九州に招請しました。

メディアは、レース取材の前後に、熊本、宮崎、福岡3県の観光地を訪れて、モータースポーツと観光素材を組み合わせた情報発信を行い、韓国内での九州の認知度向上を図りました。



○ 韓国「第9回日本歌謡大会」に協賛（5月26日：釜山広域市）

日本文化の理解促進等を目的として、在釜山日本国総領事館、対馬市、社団法人釜山韓日文化交流協会の主催により「第9回日本歌謡大会」が開催されました。

前回大会は、東日本大震災等の影響により10月開催となりましたが、今回は例年どおりの開催となりました。大会には50組がエントリーし、テープ、CDによる事前審査を経て予選で勝ち抜いた17組が出場しました。会場には、前回大会同様、約300人の来場があり満席となりました。

表彰式では、当機構事業副本部長の高橋誠より「九州観光推進機構賞」に選ばれた高校生「チン・ヒョンドン氏」、主婦の「キム・ヒギョン氏」に、ヒルトンシーホークホテル、ダイワロイヤルホテル、JR九州高速船各社から、ご提供いただいた宿泊券（1施設）、福岡・釜山往復「ビートル乗船券」の旅行目録を授与しました。最高の賞となる大賞は、釜山大学の「シム・ジェヒョン氏」が選ばれました。



○ 「九州オルレ」旅行会社を招請（5月30日～6月3日：鹿児島、熊本、大分、佐賀）

韓国で「九州オルレ」関連旅行商品の造成・販売を行うため、韓国の旅行会社・ランド社の20社を九州に招請し、一行は九州オルレ各コース、各地域の観光施設の視察を行いました。

「九州オルレ」コースのほか、九州新幹線や福岡市内で3月から運行している「オープントップバス」に乗車していただき、九州の新しい観光素材をPRしました。

今後、このような観光素材を組み合わせた商品販売を通じて、九州の認知度向上、さらなる九州への誘客の促進が期待されます。



○ 台湾「az旅遊生活」取材を支援（5月31日～6月5日：宮崎、鹿児島）

台湾の月刊旅行雑誌「a z 旅遊生活」（6万部発行）が7月号で南九州を特集するため、3月下旬に新規就航の台北鹿児島線（週3便）、台北宮崎線（週2便）で台北南九州間週5便を運航する中華航空とのタイアップにより、宮崎、鹿児島での取材ツアーを企画したことから、宮崎、鹿児島2県が取材ツアーを受け入れ、当機構は九州内の移動に要した費用を負担して取材を支援しました。

モデル1名を含む4名のスタッフは鹿児島から入り、「アイドルと一緒に癒しの南九州」をテーマとする宮崎、鹿児島の魅力を女性の視点で伝えることにしています。



○ ハースト婦人画報社取材に協力（5月）

ハースト婦人画報社「婦人画報」（5月1日発売、10万部発行）の島旅の特集記事の取材に協力しました。今回の取材は前年度からの提案が実現したものであり、長崎県小値賀、鹿児島県屋久島が取り上げられました。

小値賀では古民家ステイ、民泊をはじめ、野崎島の教会や島の自然など、屋久島では、ホテルサンカラを中心に屋久杉などの自然が紹介されました。また、編集部のご好意により、長崎県壱岐、熊本県天草、鹿児島県西之表の宿泊施設を掲載し、九州の島旅、島宿を大きくPRをすることができました。



○ 小学館取材に協力（5月）

小学館「和楽」（5月12日発売、8万部発行）の連載コーナー「三笠宮彬子女王殿下」に「古事記1300年」に絡めた取材に協力しました。

女王殿下御自身の取材とともに、熊本県幣立神宮、宮崎県高千穂神宮、高千穂峡に加えて、機構提案の鹿児島県の霧島神宮の取材が行われました。また、彬子女王殿下御自身の文章により、九州の天孫降臨について詳しく解説していただきました。

同様の連載企画の取材が今秋、福岡、佐賀で行われることが検討されています。



○ 新潮社取材に協力（5月）

新潮社「芸術新潮」（5月20日発売、5万部発行）の「古事記1300年」の取材に協力しました。この取材は機構が提案し実現したものであり、九州以外の奈良、島根などの記事を含めて、150ページに及ぶ大特集となりました。

取材先は代表的な宮崎県の高千穂、日南のほか、福岡県志賀島、香椎、宗像、鹿児島県下甕島、南さつまの笠沙など多岐にわたる場所で行われ、今回の「古事記1300年」を通じて、九州各地の神話スポットを大きく取り上げていただくことができました。



◆ 九州観光推進機構からのお知らせ

○ 新入会員企業のご紹介

新たに次の企業が会員になりましたので、お知らせいたします。（敬称略）

・株式会社JTBパブリッシング

所在地 東京都新宿区払方町25-5

代表者 代表取締役社長 横山 裕司

・株式会社ドン・キホーテ

所在地 東京都目黒区青葉台2丁目19-10

代表者 代表取締役社長 成沢 潤治

・株式会社共立メンテナンス ドーミーイン博多祇園

所在地 福岡県福岡市博多区冷泉町1-12

代表者 代表取締役社長 佐藤 充孝

○ 6月以降の主な予定

- ・アジア・ラグジュアリー旅行取扱旅行会社招請（6月1日～4日：福岡、屋久島）
- ・平成24年度下期「観光素材説明会・相談会」開催（6月5日：札幌、7日：福岡）
- ・韓国「ビジット・ジャパン韓国商談会2012ソウル」参加（6月8日：ソウル特別市）
- ・「九州のひなまつり広域振興協議会」総会・役員会出席（6月14日：福岡市）
- ・シンガポール・テレビによる情報発信（6月14日～16日：福岡、大分、熊本）
- ・香港「ITE2012」出展（6月14日～17日：香港）
- ・中国「北京国際旅遊博覧会(BITE2012)」出展（6月15日～17日：北京市）
- ・韓国「九州観光説明会・商談会」開催（7月5日：釜山広域市）
- ・アジアドラマカンファレンス関係者招請（7月13日～14日：九州各県）
- ・台湾・イベント開催に合わせた九州観光PR実施（7月21日：台北市）
- ・シンガポール「九州観光説明会・商談会及び教育旅行セミナー」開催（7月26日～27日：シンガポール）
- ・台湾・民視テレビ番組「美鳳有約」招請（7月30日～8月3日：佐賀、長崎、大分）
- ・タイ・メディア(テレビ局)招請（7月下旬：九州各県と調整中）

◇◇お問い合わせ先◇◇

九州観光推進機構 企画部 松尾

TEL : 092-751-2943 E-mail : info@welcomekyushu.jp